

# 地域福祉コーディネーターの活動を紹介！

## ☆出前講座・福祉体験プログラム

### ～災害時クロスロードゲーム～

小地域活動団体「中原いきいきクラブ」様のご依頼により、クロスロードゲームを行いました。このゲームを通じて、災害時に起こりうる様々な課題について考えさせられ、備えの大切さを学びました。また、令和元年9月に関東地方を襲った台風15号により、被害にあわれた千葉県鋸南町へ本会職員を派遣した際の様子をお話ししました。



### クロスロードゲームとは

カードを用いたゲーム形式による防災教育教材のことです。二者択一の設問に対して各自が Yes か No で自分の意見を示し、参加者同士が意見交換を行いながらゲームを進めていくというもの。

### ～高齢者・障害者疑似体験～

NPO 法人インクルーシブデザインネットワークの協力を得て、市内中学校へ出向き、生徒の方々に車いすや全盲、弱視の体験を通じて身体的制約を感じ、当事者の気持ちを考える学習をしました。今後は当事者の体験、講演も交えながらの体験を実施していきます。



### 【主な体験内容】

- 車いす体験…段差、スロープ体験
- 全盲体験…お金の計算、パートナーはどこ
- 弱視体験…トランプカード当て、サイコロ数当て 他



### ～車いす体験・車いすユーザーとの交流～

武蔵村山市身体障害者福祉センターと協働で、市内第八小学校へ伺ってきました。今回はコロナ禍ということで、残念ながら当センター利用者との交流は叶いませんでした。



## ☆ひきこもり支援

本会では、令和元年より、市内にお住まいのかたで様々な理由により、生きづらさを抱えたご本人様やご家族様を中心とした家族会を立ち上げるために準備を進めてきました。そして、令和3年5月にむさしむらやまちいき家族会「陽だまり」が発足しました。本会は現在、伴走支援をさせていただいております。ひきこもり等でお悩みのご本人、ご家族のかた、一度、本会までご相談ください。



当事者のかたが描かれたイラスト

## ☆フードバンク事業

本会では、市民の皆様や企業等からご寄附いただいたお米やレトルト食品、缶詰などを一時的に困窮している世帯にお渡しする「フードバンク事業」を実施しています。また、お預かりした食糧品の一部を「こども食堂」等へもお渡ししております。

コロナ禍でも  
みんなで  
たすけあい



ご寄附の食糧品

### ～「福祉のつどい」～

本会では、市内のこども食堂や関係福祉団体の協力を得て、去る10月3日に「福祉のつどい」を開催しました。この「つどい」は、毎年開催している「福祉まつり」に代わる事業として開催しました。

「つどい」では、フードバンク事業でお預かりしたお米やお菓子等を活用し、来場者のかたにおにぎりやお菓子の無料配布を行いました。また、市民総合センターでは、「ミニバザー」を開催し、約83,000円の売り上げを得ることができました。

【来場者数】 約900人

【協力団体】 こども食堂 4団体、関係福祉団体 6団体

### 調理の様子



### 来場者の様子



### 会場の様子



本会では、フードバンク事業とは別に「食の支援」として「フードパントリー」も実施しています。昨年12月に今年度3回目となる「フードパントリー」を実施し、お米、レトルト食品やお菓子をお渡ししました。

また、市内の商店からご寄附いただいたベビーフードを市外の乳児院4施設へ、またキャットフードのご寄附については市内のTNR関係の団体様へもお渡ししました。この他にも、地域で活動をしている福祉団体等への支援にも活用させていただいております。

※TNRとは…不幸な猫を増やさないための活動